

## 東高校卒業式 231人が門出

金沢学院東高校の第十四回卒業証書授与式は三月一日、金沢市の金沢歌劇座で行われ、卒業生二百三十一人が、思い出を胸に刻み、新たな門出を迎えました。ロビーでは美術文化コースの卒業制作展も開かれ、絵画や工芸、手芸などの力作が式に彩りを添えました。



石田校長から卒業証書を受け取る卒業生  
総代の横田雄帆君  
「金沢歌劇座」

## 空気読める「KY」になろう

「我以外皆我師」を胸に



答辞を読む井上さん

飛田理事長告辞(抜粋)  
空気が読めないのではなく空気が読める「KY」になろう。空気を読むというのは、場の雰囲気や流れに気が付き、的確な対応ができることである。そのために人の話をよく聞き、新聞や本をよく読み、自分のことばかり考えないように努力してほしい。

石田校長式辞(抜粋)  
文化勲章を受章した作家吉川英治先生は「我以外皆我師」という言葉を残している。人生には難しいこと、辛いこと、苦しいことが少なくないが、常に周囲にあるすべてのものから学んでいく謙虚な姿勢と感謝の心を持って生きて行けば、必ず道は開かれる。

クラス担任が卒業生の名前を一人ひとり読み上げたあと、代表の横田雄帆君に石田毅士郎校長が卒業証書を手渡しました。石田校長が式辞、飛田秀一学校法人金沢学院理事長が告辞でそれぞれ、はなむけの言葉を

贈りました。

齊藤千佳子同窓会長の祝辞と在校生総代の小向勇太君の送辞にこたえて、卒業生総代の井上千尋さんが「在校生の皆さんは、これまで築きあげてきた伝統を受け継ぎ、この一瞬一瞬を大切に青春を謳歌してください」と答辞を述べました。卒業生はこのあと男女共学になって初めて「揚げは尊し」を斉唱しました。式では三力年皆勤賞の十七人(代表・小林友春君)、教科外活動特別功労賞・功



美術文化コースの作品展 = 金沢歌劇座

### 弘前大会で団体初

東高相撲部 個人も1、2、3位  
金沢学院東高校相撲部は二月十一日に青森県弘前市で開かれた第二十二回全国選抜高校相撲弘前大会に出場し、団体で初優勝、個人



弘前大会で優勝した東高校相撲部員(北國新聞社提供)

でも一位に武田恭平、二位に遠藤聖大、三位に川端翔伍の各選手が入る大活躍を見せました。  
東高校チームは予選3戦を土付かず、優秀八校による決勝トーナメントでも弘前実業、三本木農業を30で破り、決勝で強豪埼玉栄を2-1で下しました。  
石川県勢では団体が十三年ぶり、個人は十四年ぶりの優勝で、東高校相撲部としては昨年の全国高校新人選手権、インターハイに続く全国大会優勝です。

金沢市工芸展で入選入賞  
第六十四回金沢市工芸展(二月二十八日、三月三日)で、金沢学院大学美術文化学部三年の菅谷一陽君と同専攻科の魚津悠君の陶芸作品が入選しました。また、教員では羽場文彦講師が金沢市長奨励賞、村谷聡志助教が金沢市工芸協会会長奨励賞を受けました。

### 能楽部自演会で能「経政」を熟演



金沢学院大学能楽部の第十二回自演会は三月一日、金沢市の石川県立能楽堂で開かれ、能「経政」"写真右"をはじめ素謡、仕舞など六つの演目が上演されました。「経政」では、四年生の新田光大君がシテ(経政の亡霊)を堂々と熟演しました。素謡「鶴亀」には卒業生も加わりました。

発行・広報室